

課題
Problem

研究機器の共同利用情報が共有化されていない

最新の研究機器を使いたいけどどの部局にあるのか分からない

いつも予約が一杯。他の部局に同等の機器がないかな？

部局外だと使用許可や予約をとるのがとても面倒

最新の実験手法を研究に使いたいけど条件設定が難しい



現状
State

部局単位での運営

医学研究院

- ヒト疾患モデル研究センター
教育・研究支援センター

歯学研究院

- 共同利用実験室

薬学研究院

- 産学官連携創薬育薬センター

生体防御医学研究所

- 技術支援室・発生工学実験室

農学研究院

- 研究教育支援センター

一元的運営体制の構築

効果
Result

全学的な研究機器共同利用による研究教育力向上

共同利用機器を使って最先端の研究にチャレンジできる！

最先端の研究機器を使って世界初の研究成果を得ることができた

共同利用機器の予約状況がポータルサイトで一元的に管理されているので研究計画が立てやすい

最新の研究機器を独自に整備する必要がなく、研究費を効率的に使用できる



研究環境の多様性を促進するための若手研究者、女性研究者及び外国人研究者を継続的に育成・支援する取り組み

生命科学教育研究支援プラットフォーム

Supporting Platform for Life Science Education Research in Kyushu University

- 共同利用機器のポータルサイトの構築
- 最先端研究・実験技術の提供、講習会の一元化
- 分野横断型研究体制構築の支援
- ▶ 持続的運営（運営コストと受益者負担のバランス）

研究力強化を図るための複数の部局等で共用する施設を整備する取り組み

大学運営改革・ミッションステートメントの実行

大学運営改革

- 研究機器整備費用の削減（機器導入の重複を減らす）
- 機器の管理経費の削減（機器の運転効率向上）

